

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日
平成 22 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 31629080, 課内No., 80, 政策体系上の位置付け, 行政評価施策名, 10, 子育て支援の促進, 政策名, 3, 豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり, 施策名, 1, 学校教育の充実, 基本事業名, 6, 幼児教育の充実, 財務会計上の位置付け, 一般会計, 単年度のみ, 単年度繰返し (昭和52年度~), 期間限定複数年度 (年度~年度)

[Do] 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

(事務事業の内容)桜川市真壁町に住所を有し、合併前の真壁町に設置されていた私立幼稚園に就園する4歳・5歳児をもつ保護者に対して補助金を交付する事業です。私立幼稚園の設置者が補助金交付申請手続きをおこなう。補助金の額は、園児1人につき、月額1,000円とし、12ヶ月分を補助する。(担当者が行う業務)該当園児の把握、補助金申請受付、補助金の決定・通知、補助金の支払い。(事業費の内訳)私立幼稚園就園補助金

(1) 事務事業の目的

Table with 4 rows for ①手段, ②対象, ③意図, ④結果 and 3 columns for ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標. Includes details like '私立真壁わかば幼稚園就園補助金支給' and '保護者の経済的負担が軽減される'.

(2) 指標値の推移

Table showing trend of indicator values from 18th to 23rd year. Columns include 区分, 単位, 18年度(実績), 19年度(実績), 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(計画), 23年度(目標). Rows include ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing trend of input volume (business expenses) from 18th to 23rd year. Columns include 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 期間限定総投入量. Rows include 事業費 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
旧真壁町で昭和52年公立幼稚園設置(5歳児)に対して、5歳児の保護者を対象に実施する。平成13年町立幼稚園が2年保育となり、私立真壁わかば幼稚園も4・5歳児の保護者が対象者となった。私立真壁わかば幼稚園について、在園児数の減少に伴い該当の保護者が減少した。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
私立事業の継続。

| | | | | | |
|-------|---------------------|---------|----------|-----|-------|
| 事務事業名 | 私立幼稚園就園助成事業(わかば幼稚園) | 事務事業No. | 31629080 | 所属課 | 学校教育課 |
|-------|---------------------|---------|----------|-----|-------|

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

| 評価項目 | |
|-----------|---|
| 目的 妥当性 | ① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 該当園児の保護者を対象に助成金を交付するという意図は、その実践により保護者の経済的負担を軽減することができ、幼児教育環境の向上を図るといった結果に結びついている。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている |
| | ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) 保護者の経済的負担を軽減するためには妥当である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である |
| | ③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) 桜川市真壁町私立幼稚園児の保護者に対する補助金交付要綱に基づくものであるため、適切である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である |
| 有効性 | ④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 保護者の経済的負担を軽減することを成果としているため、向上余地はない。 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない |
| | ⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 私立幼稚園在園児の保護者の経済的負担が増加する。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 |
| | ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> ⇨ 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に類似事業がない。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる |
| 効率性 | ⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 桜川市真壁町私立幼稚園児の保護者に対する補助金交付要綱に基づくものであるため、削減余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない |
| | ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?) 委託できる事業ではない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない |
| 公平性 | ⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 桜川市真壁町私立幼稚園児の保護者に対する補助金交付要綱に基づくものであるため、公平である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| (1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 桜川市真壁町私立幼稚園児の保護者に対する補助金交付要項に基づき、助成事業をおこなっており、公平・適切である。21年度は該当者なしであったが、次年度以降も同様に予算措置し、今後も継続していく。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|--|--|----|--|---|---|----|--|---|---|
| (3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 | (4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | | | 維持 | | ○ | × | 低下 | | × | × |
| | | | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | ○ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3)-1 改革改善策 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|---|
| (1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う) C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/> 未 |
| (3) 2次評価における改革改善案 | (4) 2次評価における指摘事項 |